

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	準高地健康増進エリアのコンセプトを生かした地域の食材発見とメニュー開発
事業主体 (連絡先)	白樺湖活性化協議会 (茅野市塚原二丁目 6-1 0266-72-2101 (内 451) 事務局 高橋 慶樹)
事業区分	⑥オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	461,576 円 (うち支援金 : 369,000 円)

事業内容

観光地入込客数が減少している車山・白樺湖・女神湖では「準高地健康増進エリア」のコンセプトのもと観光誘客に取り組んでいる。

本事業は、平成30年7月に白樺湖を一周するジョギングロード「白樺ぐるりん」が完成しハード面の充実が図れたことから、エリアコンセプトを反映した地元の食材を使ったメニューの開発によるソフト面の充実を通じ、エリアのブランド力の向上と、周遊観光促進を図る取組である。

また、「食」の開発にあたっては秋、冬に旬を迎える食材を中心に活用することで、このエリア全体が抱える、季節による観光客数の変動という課題の解決を図った。

- (1) メニュー開発のための検討会の実施
地元食材を活用したメニュー開発のための検討会を2日間実施。地域内の事業者を中心に延べ39人が参加し、メニュー化に向けた検討が行われた。
- (2) 開発したメニューの提供とアンケート調査の実施
キャンペーン期間を設け、エリア内の7店舗にて、検討会で開発したメニューのうち5品を販売。対象メニューの購入者に対しアンケート調査を実施、お客様の生の声を収集した。



【 講演会の様子 】



【 検討会の様子 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①検討会を通して地元食材を活用したメニュー9品を開発することができた。また、うち5品については実際にお客様に販売し好評をいただくことができた。
- ②「りんご」、「季節の高原野菜」など秋、冬に旬を迎える食材を活用したメニューを提供したことにより、124名もの観光客にオフシーズンの新たな魅力を訴えることができた。
- ③立科町、茅野市で多く生産、販売されている食材の活用方法を示したことで、地元食材の消費量増加につなげるきっかけとなった。
- ④アンケート調査の結果、レシピ集と併せて共有することで、メニューの定着を図ることができた。

【目標・ねらい】

- ①地元食材を使ったメニュー開発
- ②季節による観光客数変動の解消
- ③地元食材の消費量増加
- ④メニューの定着

※自己評価【 B 】

【理由】

地元食材を使ったメニューの開発を通して、統一のコンセプトによる地域内の周遊と誘客促進を図ることができた。また、開発したメニューについては観光客から好評をいただき、大いに手ごたえを感じる事ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・観光団体等を通じ事業者へのレシピ集やアンケート結果の共有を行うことで、地域内におけるメニューの提供店舗を増やし、エリアを代表するメニューとしての定着を図るとともに観光客への訴求力を高める。
- ・今回開発したメニューはじめとする食の情報をエリア内の観光情報を集めたマップに掲載し、観光客へのPRにつなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある